

課題 エプロン製作



1 競技時間：3時間 最大延長時間：30分 (但し10点減点)

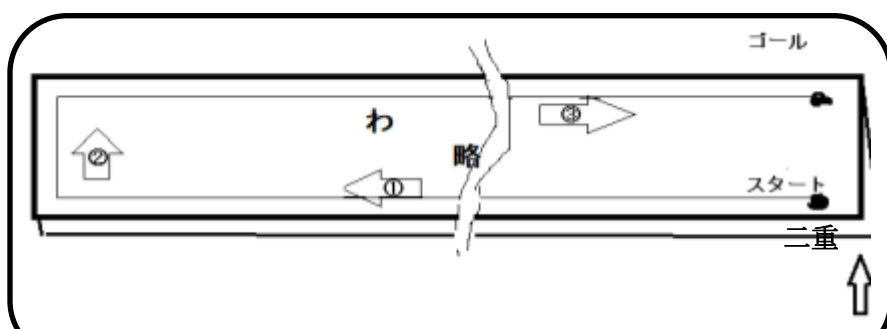
2 注意事項

- ① エプロンは職業用ミシン、家庭用ミシンのどちらでも製作可能。  
どちらを使用するかを申し込み時、使用補助具に「〇〇用ミシン使用」と記載する。  
持ち込みの場合は、「ミシン持ち込み」と記載する。
- ② 各パーツの枚数や大きさを測定し、確認する。
- ③ 各パーツの布地にアイロンをかけて地直しをし、表裏を区別して正確に組み立てる。
- ④ ポケットの印(穴)はあるが、必ず自分で実測(中心から8cm)する。
- ⑤ ミシン目の調整は、各自で確認する。  
(針目は3cmに16針目程度がめあす)  
ミシンで不具合があった場合は、すぐに手を挙げ知らせる。
- ⑥ 支給材料は、材料に欠陥のない限り、再支給しない。
- ⑦ 競技中、工具類の貸し借りは禁止する。
- ⑧ 競技を終了する時は、手をあげ、競技役員に「終わりました。」と伝える。

3 製作手順

(1) ひも作り

- ① 長辺2か所と短辺1か所を1cmの縫い代で折り、成形する。(折り方は参考資料参照)
- ② ひものステッチは、2重になっているところからスタートする。コの字に端ミシン(端から0.2cm)とする。
- ③ 方向を変える時は、必ずミシン針をさしてから方向を変える。



※でき上がり寸法、

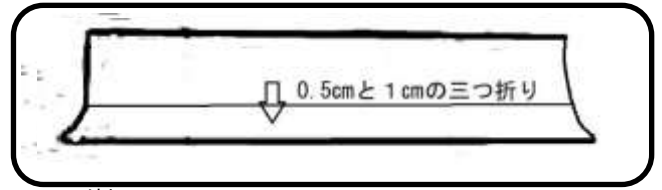
肩ひも2cmと腰ひも

4cmを確認する。

(2) 見返しつくり

見返しのすその部分を0.5cmと1cmに三つ折りをし、端ミシンをする。

※三つ折り幅は1cmあるか確認する。



(3) ポケットつくりと付け

① ポケット口を1cmと2cmの三つ折りをし、端ミシンをする。

※三つ折り幅は2cmあるか確認する。

② ポケットは、底→右わき→左わきの

順番で1cmに折って作る。ゆがみがな

く、寸法が合っているか確認する。

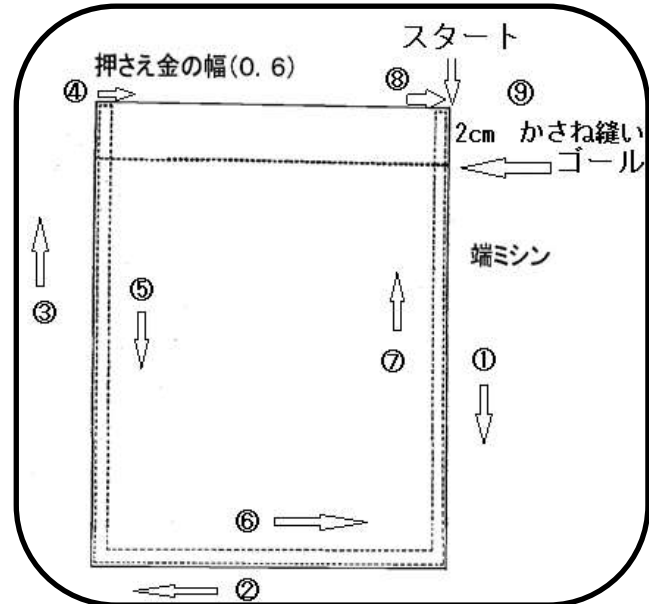
③ ポケットの位置は、エプロン本体の

中心から8cmのところに(穴があるが

各自確認する) ポケットの角がくるよ

うに置く。中心から8cm(左右のポケ

ット間16cm)を確認し、固定する。上の図を参照にステッチする。

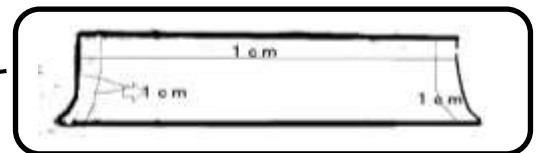


(4) すそ縫い

1cmと1.5cmの三つ折りをし、端ミシンをする。※三つ折り幅1.5cmあるか確認する。

(5) 見返しつけと袖ぐり

① 見返しに上、左右の三方に1cmの印をつける。



② エプロン本体の表に見返しは表を下に中表にし、見返しの左右「ハ」の字に縫う。

見返しのすそから

本体に一針ミシン目を落とし、返し縫いをする。

④ 肩ひもを「外わ」にし、直角になるようにまっすぐにはさむ。

④ 上部1cmを直線でミシンをかける。

⑤ ④のミシン目に合せてエプロン本体側に折り、蒸気アイロンをかける。

(角が厚いときは、ぬいしろの角を切って落ち着くようにする。)

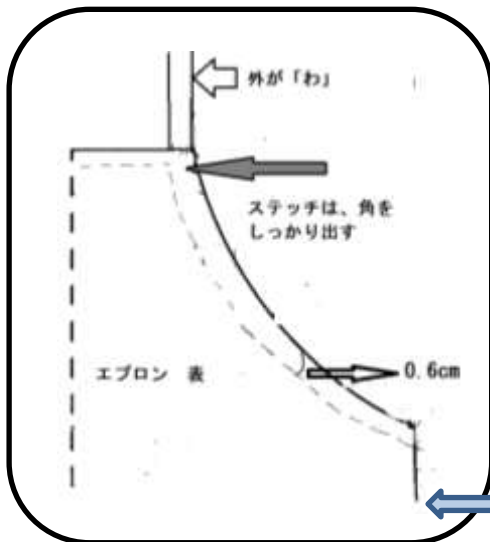
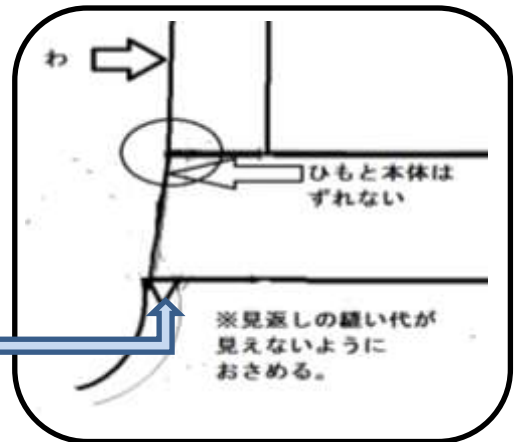
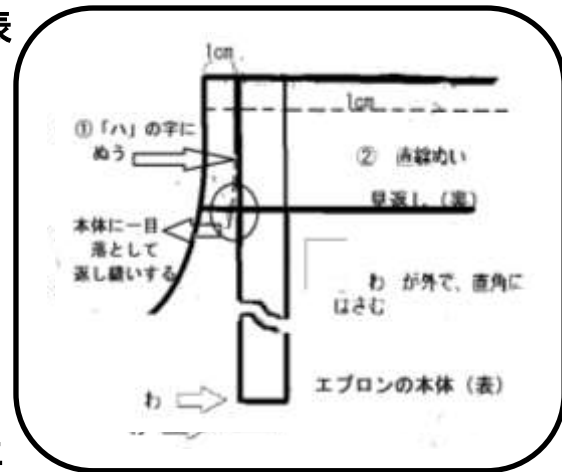
⑤ ⑤をひっくり返し、角を出す。右の図のように端からひもが出ているかを確認する。

表から見返しがみえないように三角に出ている部分を折り込み、アイロンで仕上げる。

※図のように見返しの端から出ている部分

は、見返しに折り込むかカットする。

見返しの幅が4cmあるか確認する。



⑥ 袖ぐりは、伸び止めテープのところ（ロックミシンのところ）を軽くつまみ伸ばしてなじませ、1cmに折る。

※テープのところを強くつまみ伸ばすと、伸び過ぎとなるので注意。

⑦ エプロン本体の表から、袖ぐりと見返しに左の図のように、ミシンの押さえ幅（0.6cm）でステッチをする。

(6) <sup>わき</sup> <sup>しまつ</sup> 脇の始末

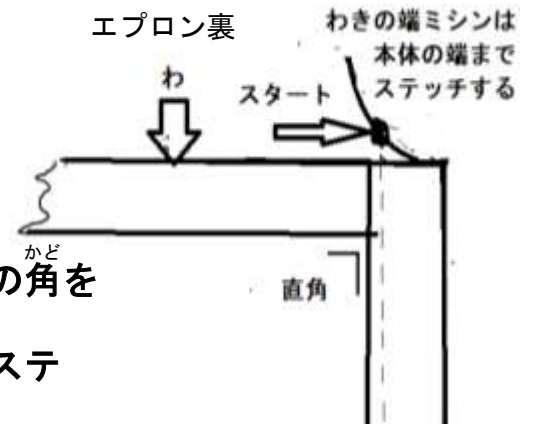
① 1 cmと1.5 cmの<sup>み</sup> <sup>お</sup> 三つ折りを<sup>かくにん</sup> する。

※三つ折り幅は1.5 cmあるか<sup>かくにん</sup> 確認する。

② <sup>こし</sup> <sup>うえ</sup> 腰ひもを上に「わ」がくるように、<sup>こし</sup> <sup>かど</sup> 腰ひもの角を

<sup>わき</sup> <sup>かど</sup> <sup>あ</sup> 脇の角に合わせては<sup>こ</sup> <sup>はし</sup> さま込み、<sup>はし</sup> 端ミシンで<sup>ステッチ</sup> ステッチする。

※ステッチは<sup>み</sup> <sup>お</sup> 三つ折りの上、<sup>うえ</sup> <sup>ほんたい</sup> <sup>はし</sup> 本体の端より<sup>め</sup> 延長したところから縫う。



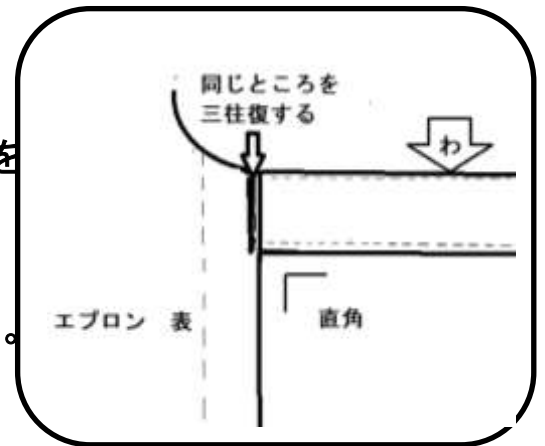
(7) <sup>つ</sup> ひも付け

ひもを<sup>おもて</sup> <sup>お</sup> <sup>ま</sup> 表に折り曲げ、<sup>ま</sup> <sup>ばり</sup> <sup>う</sup> 待ち針を打ち、

ひもの<sup>はし</sup> <sup>おうふく</sup> <sup>お</sup> 端に3往復<sup>はし</sup> 押さえステッチ (端ミシン) をする。

※押さえステッチは、<sup>かさ</sup> <sup>おな</sup> 重ねて<sup>め</sup> 同じところを縫う。

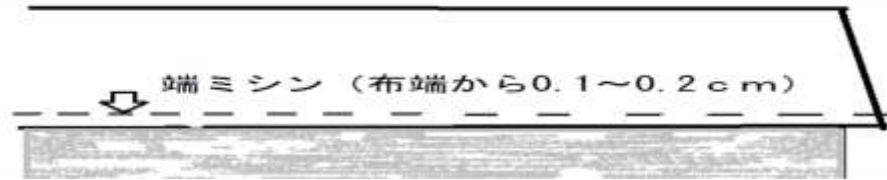
<sup>つか</sup> お疲れさまでした。



## ＜気を付けましょう＞



- ・端ミシンは布の端から 0.1～0.2 cm のところを、まっすぐ正確に縫う。



- ・返し縫いは、きちんと重ねる。
- ・縫い直しはなるべく行わない。ほどくと布地が傷み汚くなってしまいます。
- ・一工程終わったらアイロンがけをし、必要のない糸は始末する。
- ・糸くずなどのごみは、ごみ入れを持参して入れ、整理整頓を心掛ける。
- ・道具は、安全に配慮した場所に置く。
- ・ミシンとアイロンの電源スイッチの管理も行う。
- ・落ち着いて作業に集中する。時間は自分で計画的に配分する。
- ・競技時間を有効に使い、見直しやアイロンがけをしっかりと行う。

※ 競技時間内は、時間による採点はない

# 縫製競技使用用具一覧表

## 1 競技者が持参するもの

持参する品名	規格	数量	備考
縫製用具類一式	適宜	適宜	裁ばさみ、小ばさみ、目打ち ものさし、チャコ、ステッチ 定規 他 必要な補助具等

## 2 競技場に準備してあるもの

	品名	規格	数量	備考
1	作業台		1台	
2	ミシン	・職業用自動 糸切付きミシン ・家庭用ミシン	どちらか 1台	
3	ボビンケース		1個	各ミシンに合った物
4	ボビン		2個	同上 (下糸巻き済み)
5	ミシン針	# 11		同上
6	アイロン	家庭用 スチームアイロ ン	1台	(水分補充用ペットボトル)
7	アイロン用 敷布		1枚	
8	おもてじ 表地	綿ブロード	1枚 ぶん分	裁断済み 袖ぐりバイアステープ ロック済み
9	ミシン糸	化繊糸 #60	1巻き	

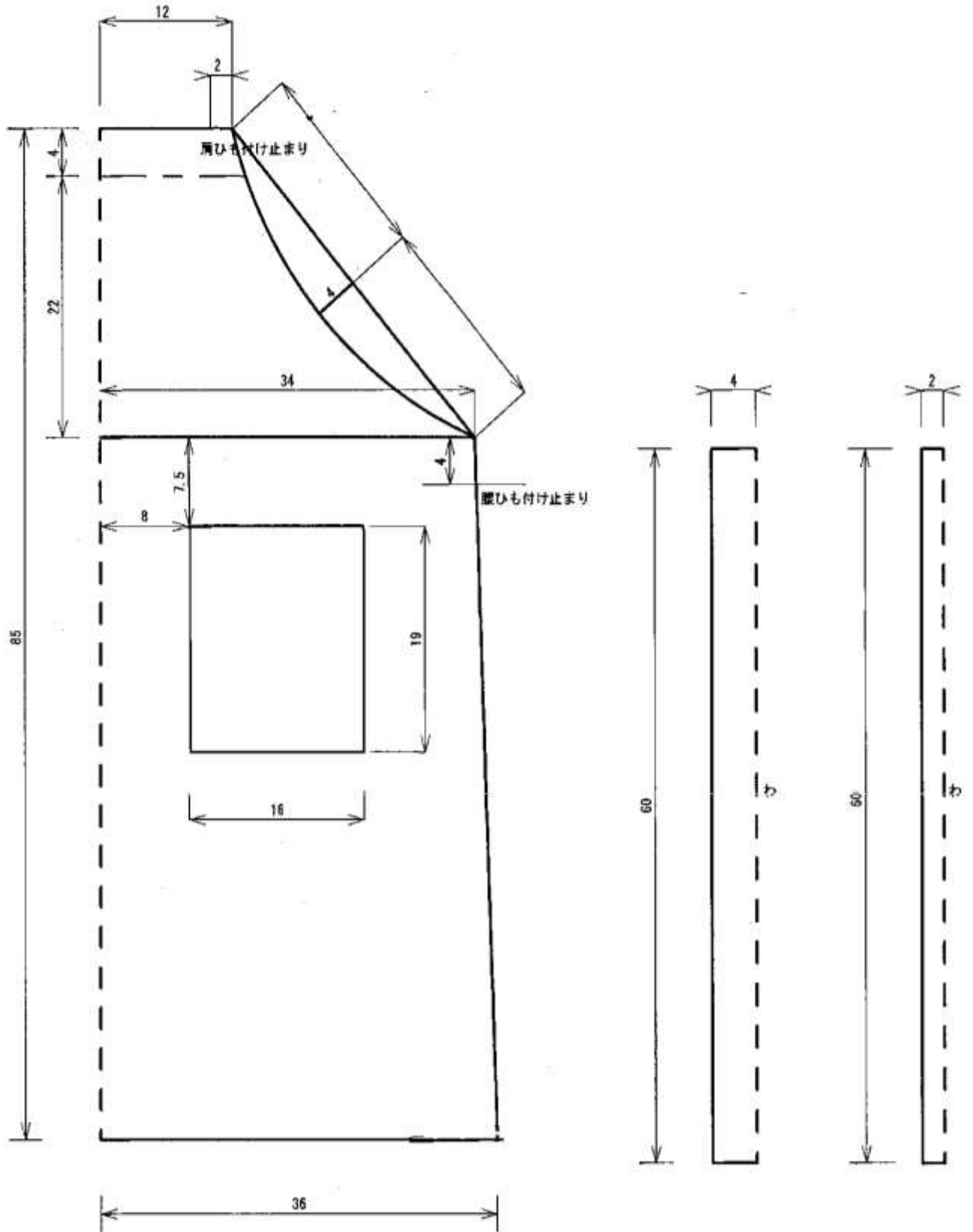
注 1 使い慣れたミシン、アイロンを使用希望の方は持込み可能です。

なお、ミシン持ち込みの場合はボビン、ボビンケース、ミシン針は

各自で用意下さい。会場到着後、準備の時間に下糸を巻いてください。

(事前に糸を渡すことはできません)

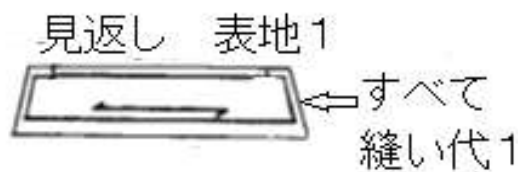
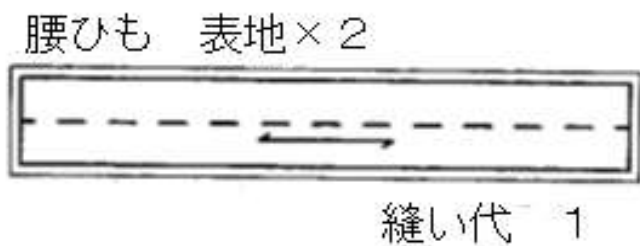
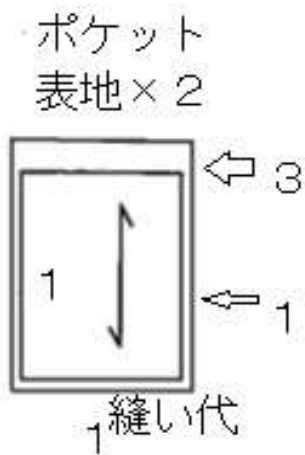
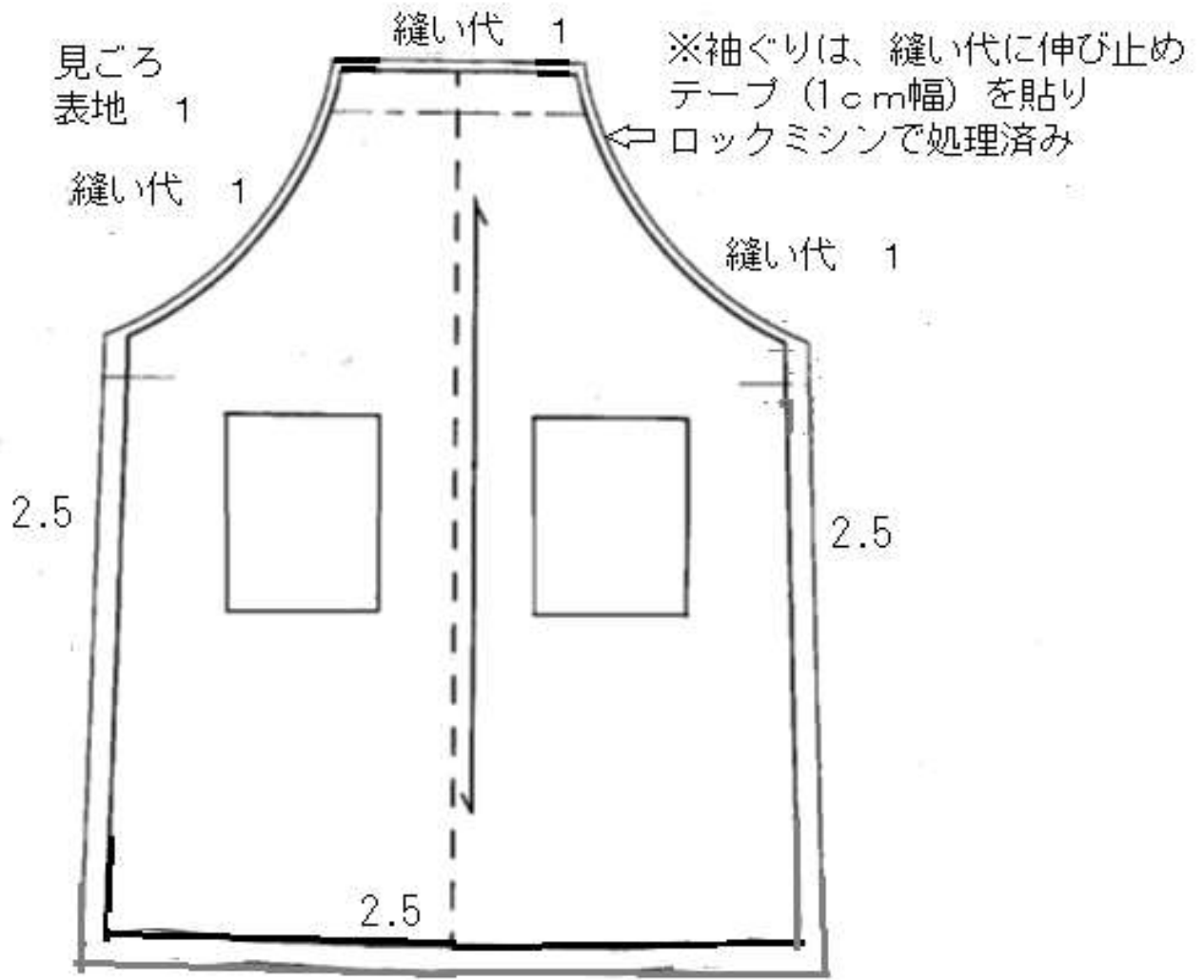
エプロン ぎのうきょうぎたいかいかいだいせいす  
 (技能競技大会課題製図)



すうじたんい  
 数字単位 cm

エプロン ぎのうきょうぎたいかいかいだいぬしろ  
 (技能競技大会課題 縫い代)

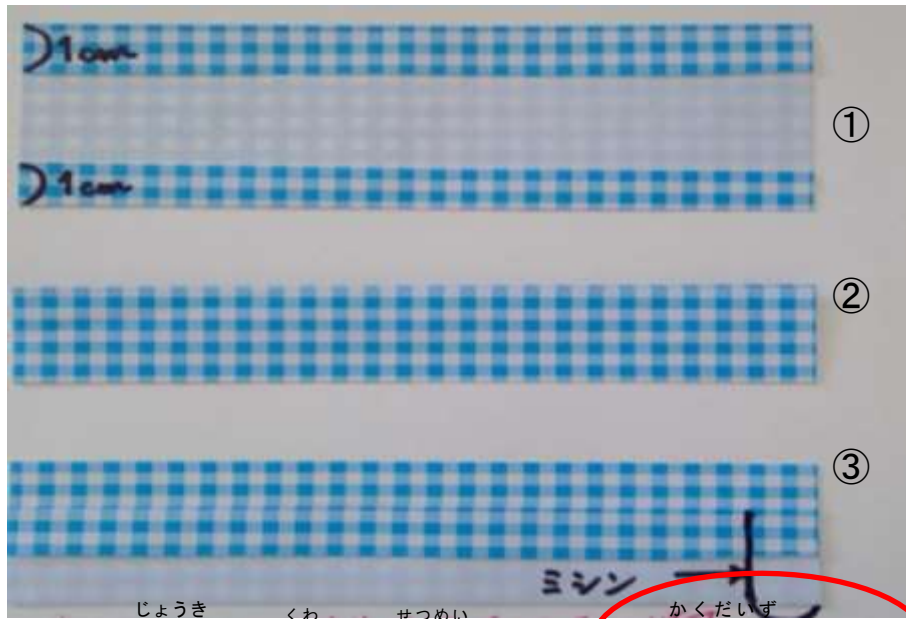
はいふ おもてじ すんぼう さいだん しょり  
 \* 配布される表地はこの寸法で裁断、処理されています。





さんこうしりょう  
参考資料

① ひも作り (きれいに仕上げる一つの方法です。参考にしてください)



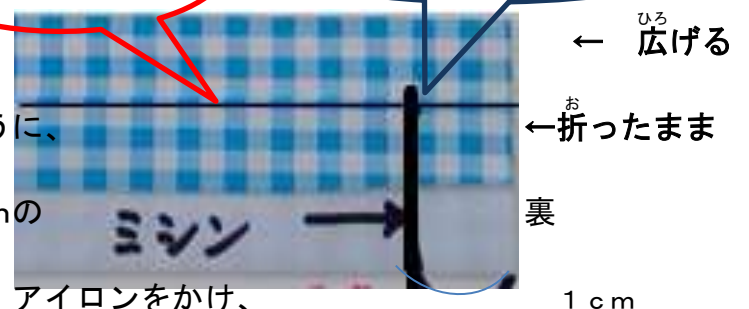
- こし 腰ひも、かた 肩ひもどちらも同じ
- ① 裏を上向きにし、長辺両端 1cm アイロンで折る。
  - ② ①を外表に半分にアイロンで折る。
  - ③ ②を広げ、表を中にして端から 1cm のところにミシン。

じょうき 上記③の詳しい説明

かくだいず 拡大図

ひとめした お へん 一目下に落として返し縫い

②の広げ方は一方の端を中表に、  
10cmほどひっくり返し 右図のように、  
片方は広げ、片方は折り布端から 1cm の  
ところを縫う。ミシンのところで折り、アイロンをかけ、  
ひもの角をしっかりと出して、形を整える。



※ 角はきれいに目打ちで出す。



④ ステッチをかける。

(ステッチは、「製作工程」

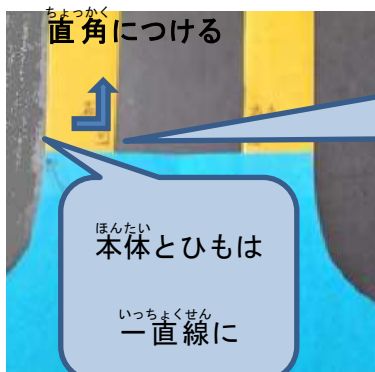
ひもづくりの図 参照)

※ できあがりの寸法をそれぞれ確認し、角は90°になっていることを確認すること

②ひも付け (ひもをつけるところに、多くの注意点があります)

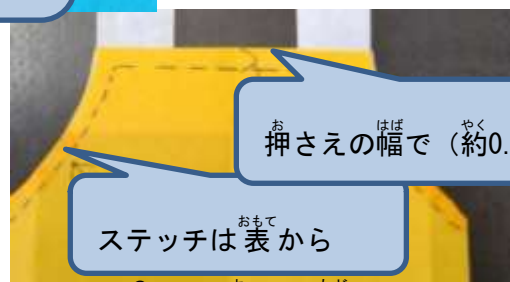
肩ひも付けの注意点

見返しとひもがつき、  
表にかえしたとき



ひもはまっすぐに本体からでているか。

ステッチをかける前に、袖ぐりにしわがなく、きちんと落ち着いているかを確認する。

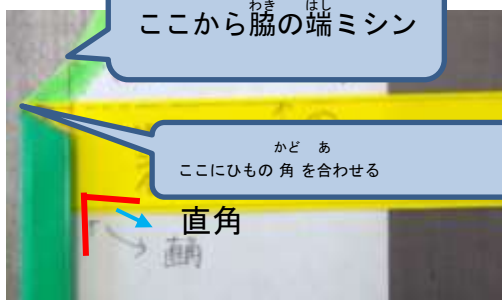


突っ張りやしわがあるときは、裏側の伸び止め

テープのところを、つまんで少し伸ばして落ち着かせる。(伸ばし過ぎは戻らないので注意)

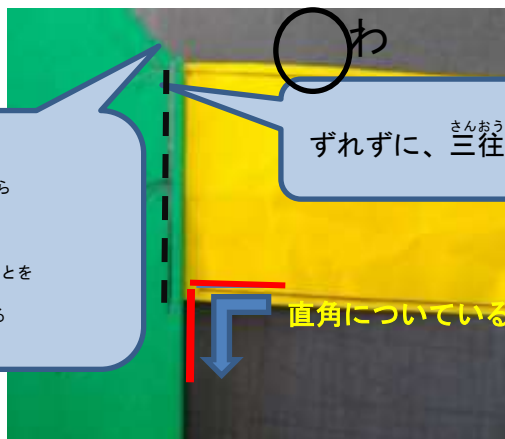
腰ひも付けの注意点

腰ひもを脇にはさんだときに  
気をつけること



ひもを表に向けて、アイロンで整えた後

表からもひもがまっすぐついているか  
を確認して、ステッチをかける。



「参考資料」は、課題を製作手順にそって作成するときご活用ください。